

盛岡てがみ館
第74回
企画展



戦後80年を機に、太平洋戦争の終結と戦後処理に尽力した盛岡出身の海軍大臣・米内光政について、手紙などの資料をとおして紹介します。

米内光政肖像、戦艦「陸奥」
盛岡市先人記念館提供

戦後80年 最後の海軍大臣

米内光政の手紙

令和7年 6月18日(水)～10月6日(月)

主催 盛岡てがみ館(所管:盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
プラザおでって6階
TEL/FAX(019)604-3302



- 開館時間 午前9時～午後6時
(ただし入館は午後5時30分まで)
- 休館日 毎月第2火曜日
- 入館料 一般 200円(団体160円)
高校生 100円(団体 80円)

※団体は20名以上からとなります。
※小・中学生及び盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は無料。



地下駐車場有り(有料)

盛岡てがみ館 第74回企画展 戦後80年 最後の海軍大臣 米内光政の手紙

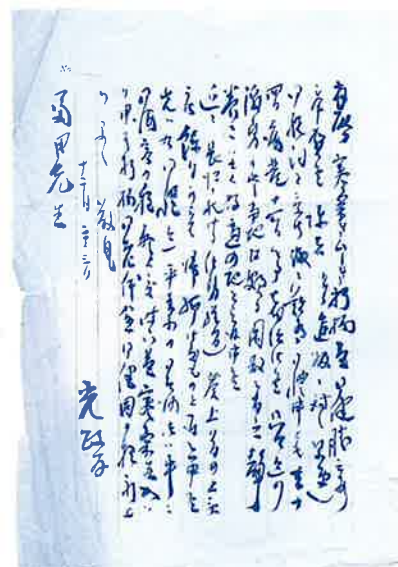
令和7年(2025)は、太平洋戦争の終結から80年にあたります。この戦争終結のために尽力したのが、盛岡出身で海軍軍人・政治家の米内光政(1880~1948)です。米内は、国際情勢を大局的に見据え、陸軍の主張する三国同盟に反対し続けました。その状況下で誕生した米内内閣は、陸軍大臣の辞任により倒閣せざるをえなくなり、やがて日本は開戦に至ります。そして、敗色が濃厚となった戦争末期には、米内が4期目の海軍大臣となり、戦争の速やかな終結と戦後処理に力を尽くしました。

戦後80年を機に、反戦の立場をとり続けた米内について、手紙などの資料をとおして紹介します。



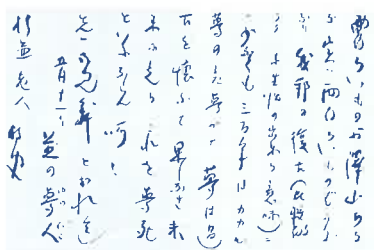
▲米内光政書簡 富田小一郎あて
(明治38年10月31日)

巡洋艦・磐手の分隊長心得だった米内光政が、中学校時代の恩師・富田小一郎にあてた手紙。手紙では、日露戦争の終結を記念し10月23日に横浜沖で行われた凱旋観艦式が盛況だったことを伝えている。



▲米内光政書簡 富田小一郎あて
(昭和5年12月23日)

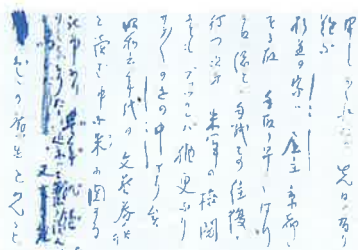
富田小一郎から中将昇進について祝詞をもらったことへの礼状。米内は中将昇進とともに鎮海要港部司令官に任命された。米内はこの手紙で、今までの激務に比べ「当地は頗る閑散」と述べており、その空いた時間を読書などに費やし知識を深めていた。



▲米内光政書簡 荒城二郎あて(昭和21年5月11日)

盛岡市先人記念館提供

海軍兵学校の同期で親友の荒城二郎へあてた手紙。米内は、日本が比較的に楽な生活ができるまでには少なくとも三百年はかかると述べている。終戦直後の日本の状況を目の当たりにしていた米内の実感が伝わる。



関連
イベント

●ギャラリートーク(学芸員)

令和7年7月5日(土) 10:30~11:15

お申し込みは令和7年6月21日(土)10:00から
先着順にて電話受け付け。定員10名。
入館料が必要。

●ふみの日ギャラリートーク(館長)

令和7年9月23日(火・祝) 10:30~11:15

お申し込みは令和7年9月11日(木)10:00から
先着順にて電話受け付け。定員10名。入館料が必要。
★当日ご来館の方にはポストカードをプレゼント

公益財団法人盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

■盛岡市先人記念館

第71回企画展「鈴木彦次郎 岩手の文化の育成者」
令和7年6月28日(土)~8月31日(日)

■石川啄木記念館

リニューアルオープン記念 第18回企画展「啄木いしぶみ紀行①ふるさとに建つ碑」
令和7年5月10日(土)~8月11日(月・祝)

■原敬記念館

第68回企画展「原敬日記一日記にみる明治大正事件災害録一」
令和7年6月14日(土)~8月17日(日)

■盛岡市玉山歴史民俗資料館

リニューアルオープン記念 第1回企画展「明治時代のたまやまの暮らし」
令和7年4月13日(日)~令和8年3月

盛岡てがみ館

MORIOKA MUSEUM OF LETTERS

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって6階

TEL/FAX (019)604-3302